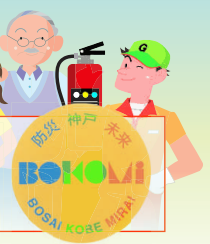


防コミの歩き方



舞多間地域福祉センター設立までの地域交流を考えて～舞多間防災福祉コミュニティ～

地区愛称は、親しみを込めて呼べる、「ガーデンシティ舞多間」です。歴史的にも由緒ある「多間」の地名に、「舞」を組み合わせることにより、同音の英語「MY(マイ)」から「我がまち」の意味を込めるとともに、字の持つ意味と語感の響きから「華やかさ」を表現しています。また、「舞多間」の冠に、神戸芸術工科大学齋木教授の提言である「新・田園都市構想」より、「ガーデンシティ(田園都市)」を用いることで、その取り組みを前面に打ち出しています。

穏やかな瀬戸内の海、淡路島や明石海峡大橋を眼下に望むガーデンシティ舞多間は、神戸都心から30分圏内にあり、都心の快適性とメダカやホテルがすむ緑豊かな自然とをあわせそなえたまちです。

ここでのまちづくりは、グッドデザイン賞や国際まちづくり賞リブコムアワードで銀賞を受賞するなど、国内外で高い評価を得ています。

その中で、舞多間防災福祉コミュニティは今年4月に結成されたばかりで、舞多間小学校区の自治会を中心に組織されています。活動拠点予定の舞多間地域福祉センターが2019年12月に設立予定であり、年内には防災資機材倉庫の設置が決まり、今は資機材を選択している最中です。

1 主な活動内容

① 市民防災リーダー研修

災害発生時に地域住民の先頭に立ち、地域活動ができるリーダーを育成することを目的とした研修で、9月23日、垂水消防署内で実施された研修に5人初参加しました。



② 学園南公園での総合訓練

大人も子どもたちも防災意識を高め、地域の防災力向上につながるのを期待し、毎年1月に佐義長(とんど焼き)行事と合わせて実施しています。この訓練では、垂水消防署・垂水消防団垂水北分団の方々にご支援をいただき、消火訓練を実施しています。



③ 地域ブロック訓練

舞多間地区を4ブロックに分けて、たくさんの地域住人が参加される訓練を目指しています。

2 今後の方針

来年、地域福祉センターが設立されるまでに、さまざまな活動を通じて地域の交流を深め、防災意識の高揚を図っていききたいと思います。

(舞多間防災福祉コミュニティ 南 俊治)